

令和3年12月1日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」 開催及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、日本博主催・共催型プロジェクトとして、2021（令和3）年12月14日（火）から2022（令和4）年2月27日（日）までの期間、下記のとおり、企画展「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち12月13日（月）午後5時から午後6時30分の間、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

日本列島は、豊富な固有種をはじめとする特徴的な生物相が見られる地域です。一方で、現在では多くの種が絶滅の一手前の危機的状況にあり、中には既に絶滅してしまった種も存在します。

本展は、標本などのコレクションが、日本の生物多様性の変遷と現状の把握、さらには実際の種の保全に対してどのように貢献しているのか、貴重な標本や関連資料の展示の中から「発見」していただくことを目指した企画展です。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

【会場】 国立科学博物館（東京・上野公園） 日本館1階企画展示室及び中央ホール

【会期】 2021（令和3）年12月14日（火）～2022（令和4）年2月27日（日）

【開館時間】 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで。

【休館日】 毎週月曜日、12月28日（火）～1月1日（土・祝）

ただし12月27日（月）、1月3日（月）・10日（月・祝）は開館

※会期等は変更となることがあります。

【入館料】 一般・大学生：630円（団体510円）（税込）、高校生以下及び65歳以上無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。団体は20名以上。

【入館方法】 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館には、オンラインによる事前予約が必要です。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主催】 国立科学博物館、文化庁、日本芸術文化振興会

【展示概要】 別添の本展チラシ参照

【お問合せ】 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5814-9840、9883、9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

※「日本博」は文化庁及び独立行政法人日本芸術文化振興会が中心となって、関係府省庁、地方公共団体、民間団体等と連携しつつ、各地域が誇るさまざまな文化観光資源を活用し、年間を通じて体系的に展開する国家プロジェクトです。

令和3年12月1日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」

報道内覧会のお知らせ

2021(令和3)年12月13日(月)午後5時～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「発見！日本の生物多様性 ～標本から読み解く、未来への光～」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

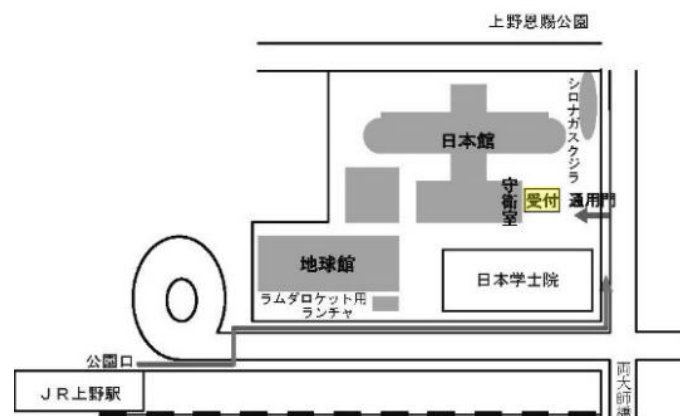
【日時】 2021(令和3)年12月13日(月)
午後5時～午後6時30分(受付開始 午後4時30分～)

【会場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

日本館1階企画展示室及び中央ホール

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

午後4時30分～ 受付開始(受付場所：日本館1階守衛室前)

午後5時～午後6時30分 報道内覧会

※本展の監修をした、国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

(1) 次の方のご参加は不可とさせていただきます。

- ・ 当日体温が 37.5 度以上の方
- ・ その他、発熱、咳、息苦しさ、下痢、倦怠感、吐き気、頭痛、嗅覚異常、味覚異常等、平常時と違う症状をお感じの方

(2) 以下、ご理解・ご協力をお願いいたします。

①来館時

- ・ 受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・ マスクの着用をお願いします(内覧時も含む)。
- ・ 会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。

②内覧時

- ・ 対人距離をなるべく 2m 以上あけるようお願いします。
- ・ 間隔調整のため、各展示は譲り合ってご覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・ 会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・ 会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

③来館後

- ・ 万が一、体調不良等が起こった場合は必ず国立科学博物館企画展担当までご連絡ください。

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **12月9日(木)午後5時**までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「生物多様性」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね 3 日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1 ヶ月以内に破棄いたします。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

【本展監修者】



植物研究部 陸上植物研究グループ 研究主幹

海老原 淳（えびはら あつし）

専門は植物分類学。シダ植物の分類学的・系統学的研究を、分子系統学的手法や倍数性解析等を活用して進めています。また、シダ植物の複雑な種分化様式を解明するため、配偶体の性質に着目した研究を行っています。



植物研究部 多様性解析・保全グループ長

遊川 知久（ゆかわ ともひさ）

専門はラン科植物、熱帯の植物。植物の多様性に関わる3つのテーマ—多様性の実体把握、多様化の原因と過程の解明、多様性の保全—に興味をもって研究しています。また絶滅のおそれのある種や遺伝資源を次世代に伝えるための活動を行っています。



植物研究部長

細矢 剛（ほそや つよし）

専門は菌類学。ビョウタケ類とよばれる、変形菌なみに小型のきのこの分類や進化・生態などを、培養や分子データなどを駆使して研究しています。また、日本中の博物館からデータの提供を受けて、いろいろな生物の多様性データを世界に発信する活動を展開しています。



動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹

中江 雅典（なかえ まさのり）

専門は魚類の系統分類及び形態学（骨学・筋学・神経解剖学）。硬骨魚の系統分類や環境適応を形態にもとづいて研究しています。なぜこのように多様な形の魚類が存在するのか、その要因を明らかにしようとしています。



動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究員

吉川 夏彦（よしかわ なつひこ）

サンショウウオ類やカエル類を中心としたアジア産両生類の系統関係や分類、生物地理を研究しています。特に北東アジアに固有のグループであるハコネサンショウウオ属に興味をもっており、全国各地の山を登って調査を行い、分類学的再検討、生態の調査、希少種保全などの研究を進めています。



標本資料センター 副コレクションディレクター

神保 宇嗣（じんぼ うつぎ）

チョウやガの仲間、とくに小型のガの仲間を中心とした分類学的な研究を、系統学や生物地理学などと連携させながら行っています。また、種名データベースをはじめ、多様性に関する情報の発信や共有に関して、情報基盤の構築から保全での活用まで幅広く取り組んでいます。

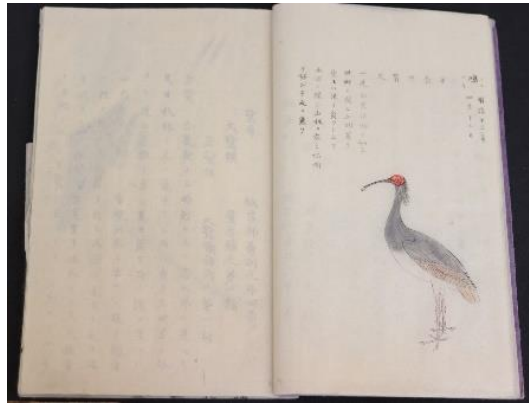
広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

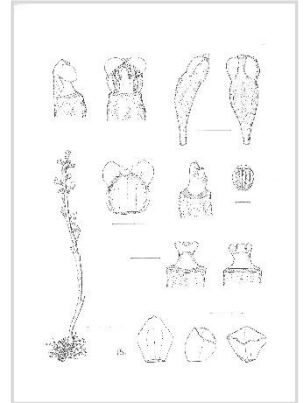
国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①企画展「発見！日本の生物多様性
～標本から読み解く、未来への光～」
ポスター



②松森胤保『両羽博物図譜』に描かれたトキ
(所蔵：酒田市立光丘文庫)



③絶滅危惧IB類のタンザワサカナランの
新種記載のために描かれた線画
(画：中島睦子、所蔵：国立科学博物館)



④絶滅種ニホンカワウソの剥製
(所蔵：国立科学博物館)



⑤貴重な日本産のラッコ（チシマラッコ）剥製
(写真提供・所蔵：根室市歴史と自然の資料館)



⑥絶滅危惧IA類のチョウ
オオウラギンヒョウモンの標本
(所蔵：国立科学博物館)



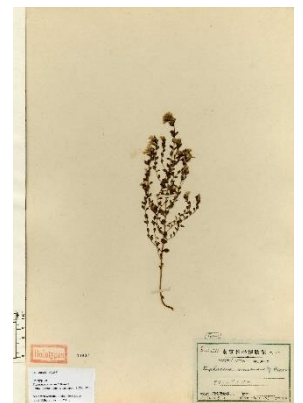
⑦筑波山塊の固有種
ツクバハコネサンショウウオ



⑧1914年以来
再発見されていない
絶滅種のきのこ
アミラツパタケ
(所蔵：国立科学博物館)



⑨日本国内で1回だけ採集された
シダ植物 コウヨウザンカズラの標本
(所蔵：国立科学博物館)



⑩絶滅植物オウミコゴメグサの
正基準標本(1927年比良山産)
(所蔵：国立科学博物館)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

発見！ 日本の 生物多様性



企画展

国立科学博物館 [東京] National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)
上野公園 日本館1階企画展示室および中央ホール

入館料(税込) 一般・大学生630円(団体510円) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。
※団体は20名以上。※高校生以下および65歳以上は無料。

※入館には、オンラインによる事前予約が必要です。詳細はホームページをご覧ください。

令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト

プロジェクト

企画展

発見！日本の生物多様性

～ 標本から読み解く、未来への光～

Special Exhibition

Preserving Japan's Biodiversity for the Future: Clues from Natural History Collections

日本列島は、豊富な固有種をはじめとする特徴的な生物相が見られる地域です。

一方で、現在では多くの種が絶滅の一手手前の危機的状況にあり、中には既に絶滅してしまった種も存在します。

標本などのコレクションが、日本の生物多様性の変遷と現状の把握、さらには実際の種の保全に対してどのように貢献しているのか、貴重な標本や関連資料の展示の中から「発見」していただくことを目指した企画展です。

日本から 絶滅寸前の 生物が語ること

代表的な日本の絶滅寸前種（絶滅危惧I類）



チシマラッコ



オオウラギンヒョウモン



アマミデナ

絶滅からの「復活」を遂げた種

- シマクモクリソウ ●ムニンキヌラン
- ホソバノキミズ ●カバイロチャダイゴケ
- ハハシマアコウショウロ ●トキ
- クニマス ●カダメクラチビゴミムシ



シマクモクリソウ

日本から 絶滅した生物の 標本が上野に集う

- ニホンオオカミ ●ニホンカワウソ ●チョウザメ
- マミジロクイナ ●シマハヤブサ ●エンザガイ
- トキウモウダニ ●イオウジマハナヤスリ
- コウヨウザンカズラ ●サガミメドハギ
- オウミコゴメグサ ●クモイコゴメグサ
- タカノホシクサ ●チャイロテンツキ ●アミラツパタケ

最後の目撃は1979年



ニホンカワウソ

1966年に1回だけ
採集されたシダ植物



コウヨウザンカズラ

1914年以降
見つからないキノコ



アミラツパタケ

絶滅種・絶滅寸前種を 克明に記録した 博物図

『両羽博物図譜』に描かれた日本の絶滅動物



チョウザメ



トキ

ラン科植物絶滅寸前種原因

標本をもとに緻密に描かれ、
今日でも新種記載に欠かせない
植物の標本図（中島睦子 画）



タンザワサカネラン

標本を たくさん集めると 何がわかる？

博物館標本から生化学・ 分子生物学的な情報を 取り出すミュゼオミクス

古い標本のDNAを分析し、
絶滅個体群の正体が判明！



1910年父島産のメグロ標本

生物多様性情報学

標本から得られた情報を
地図上に落としこむと、
日本の生物多様性の今が見えてくる！



プロジェクションマッピング

日本の 生物多様性を 守るために ～博物館での取り組み～

種の特性の把握

希少な新種を発見し、
種の保全を図る



ツクバハコネサンショウウオ

リビングコレクションの活用

野外では絶滅してしまった
植物の野生復帰を目指す



コシガヤホシクサ

※『両羽博物図譜』より。表面 ニホンカワウソおよびトキ 裏面 チョウザメおよびトキ 所蔵：酒田市立光丘文庫 ※裏面 チシマラッコ 写真提供・所蔵：根室市歴史と自然の資料館

国立科学博物館 [東京]

National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)
日本館1階企画展示室および中央ホール

アクセス 当館には駐車場および駐輪場はございません。

JR／「上野駅」公園口から徒歩5分

東京メトロ銀座線・日比谷線／「上野駅」7番出口から徒歩10分

京成電鉄／「京成上野駅」正面口から徒歩10分



お問い合わせ：国立科学博物館ホームページ
<https://www.kahaku.go.jp/>
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX 03-5814-9898



入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。
<https://www.kahaku.go.jp/>